

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

眞 宅 篤 氏 宇部市医師会 4 月 12 日 享 年 85

山口県ドクターバンク

医師に関する求人の申込を受理します。なお、医師以外に、看護師、放射線技師、栄養士、医療技術者、理学療法士、作業療法士も取り扱います。最新情報は当会 HP にてご確認ください。

問い合わせ先：山口県医師会医師等無料職業紹介所

〒 753-0814 山口市吉敷下東 3-1-1 山口県医師会内ドクターバンク事務局

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527 E-mail：info@yamaguchi.med.or.jp

編集後記

ほめ達コミュニケーションの話。「ほめ達」とは「ほめる達人」のことである。分からないことがあっても上司や医師に聞きづらいなど、コミュニケーション不足が医療安全上、問題と思われるようなことがある。そこでコミュニケーション能力の向上を願って、「ほめ達」講習を行った。日本ほめる達人協会理事長の西村貴好さんが始めた事業である。同氏は当初、事業所からの従業員に対する内偵調査依頼に対して、接客態度が悪いなどダメ出しをしていたが、一向に改善しないため、良い点に焦点を当てて評価するようにすると事業所の業績も改善したという。知識不足があっても先輩に聞くなどして仕事をした人には「丁寧な仕事ぶり」と評価して、前向きにさせることが良かったとのこと。大雑把、出しゃばり、要領が悪いのは、ダイナミック（器が大きい）、世話好き（行動力がある）、丁寧（ずるさがない）などに言い換えることで、人をプラス評価することができるようになるそうだ。そして、日々、3S（すごい！さすが！素晴らしい！）を口に出し、3D（でも、だって、できない）は使わないようにすることが大切という。上司や後輩の言動にムカッとするときは「そうくるか！」と考えると、心が落ち着くようだ。まずは、3Sを自分に使い、さらに家族や身近な人、働く仲間を広げていくとコミュニケーションが良くなり、さまざまな効果をあげられるという。最後にもう一つ。二言挨拶「お疲れ様 + 一言（ありがとうなど）」がコミュニケーションを強めるらしい。後は実行あるのみ！

（理事 山下 哲男）